

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 ヒビノ株式会社
 コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) ヒビノGMC経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 日比野 晃久
 (氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,989	6.2	768	1.7	629	△5.4	295	24.4
24年3月期第3四半期	10,345	△2.1	755	115.3	665	172.7	237	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 290百万円 (30.5%) 24年3月期第3四半期 222百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	60.07	—
24年3月期第3四半期	47.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,399	4,034	32.5
24年3月期	13,370	3,903	29.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,034百万円 24年3月期 3,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	2.7	600	16.4	470	9.1	200	—	40.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	5,047,840 株	24年3月期	5,547,840 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	127,598 株	24年3月期	606,098 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,925,226 株	24年3月期3Q	4,974,387 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を下支えとして緩やかな回復基調にあったものの、欧州債務問題の長期化や中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化、為替相場の変動等を背景に、世界経済を巡る不確実性は依然として高く、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社6社)は、引き続き経費削減を徹底するとともに、中期経営計画「Action 50」の基本方針である「ものづくり事業の強化」、「グローバル展開の強化」、「M&A等の検討」、「新規事業の開発」の実現に向け、グループシナジーの追求及び新規市場へのアプローチに取り組みました。具体的には、当社連結子会社Hibino Asia Pacific (Shanghai) Limited(ヒビノ アジア パシフィック(シャンハイ)リミテッド)は、グローバル競争力を高めるため、平成24年4月よりコンサート・イベント事業を開始し、積極的な受注活動を推進いたしました。また、当社連結子会社ヒビノメディアテクニカル株式会社は、顧客基盤の強化のため、放送局や映像制作会社向けに映像音声機器のレンタルを行う株式会社ベスコの全株式を取得し、子会社化(当社の孫会社化)することといたしました。

当第3四半期連結累計期間は、震災による設備投資マインド低下やイベント中止等の影響を受けた前年同四半期から経営環境が改善したことにより、すべての事業において増収となりました。とりわけ、コンサート・イベント事業がコンサート案件を中心に好調に推移したほか、音響機器販売事業においても放送局、ホール、コンサート音響会社等全般的に堅調な需要を集め、売上高が増加いたしました。利益面につきましては、営業利益は、売上高の増加と販売費及び一般管理費の抑制により前年同四半期を上回りましたが、経常利益は、当第3四半期における急激な円安の進行で為替差損が発生したこと等により前年同四半期を下回りました。

これらの結果、売上高10,989百万円(前年同四半期比6.2%増)、営業利益768百万円(同1.7%増)、経常利益629百万円(同5.4%減)、四半期純利益295百万円(同24.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[音響機器販売事業]

音響機器販売事業は、リーマン・ショック以降の低迷期を脱し、主要輸入ブランド商品の需要は、着実に拡大しております。また、放送局をはじめ大型ライブハウスやホール、コンサート音響会社等、複数の大型案件を順調に獲得いたしました。さらに、当社連結子会社ヒビノインターサウンド株式会社は、取扱い輸入ブランドiBasso Audio社との共同開発により、CDを超える高音質な音源を再生できる携帯デジタル音楽プレイヤーを発売し、新たな需要領域を切り拓く提案型商品として高い評価を獲得いたしました。一方、当第3四半期における急激な円安の進行で仕入価格が上昇したことが利益のマイナス要因となりましたが、堅調な需要に支えられた結果、対前年同四半期比で増収増益となりました。

これらの結果、音響機器販売事業の売上高は4,003百万円(前年同四半期比12.7%増)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、顧客企業における設備や広告宣伝への投資は依然として抑制傾向が続いており、市場環境は一進一退で推移しております。さらに、安価な海外製品の流入による競争激化もあり、予断を許さない状況が続いております。こうした環境下、新設、更新需要を着実に取り込み、東京・新宿に開業した大型商業施設や秋葉原の大型街頭ビジョン等に当社グループ製LEDディスプレイ・システムを納入することができました。また、市場環境や顧客ニーズの変化に対応すべく、価格競争力を備えた高品質製品の開発、防災需要に応じた高付加価値製品の販売促進活動を推進しております。

これらの結果、映像製品の開発・製造・販売事業の売上高は550百万円(前年同四半期比8.5%増)となりました。

[コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、引き続き活況を呈しているコンサート市場を背景に、ドーム、アリーナ等の大型コンサートツアーを多数獲得し、音響、映像ともに好調に推移いたしました。加えて、震災の影響からの回復や景況感の改善により、企業イベントや展示会、医学関連学会各分野も総じて堅調に推移したことから、東京モーターショーの非開催年度でありながら、対前年同四半期比で増収増益となりました。また、平成24年4月よりコンサート・イベント事業を開始したHibino Asia Pacific (Shanghai) Limited(ヒビノ アジア パシフィック(シャンハイ)リミテッド)は、北京モーターショーのほか、中国各地のモーターショーにおいて日本自動車メーカーの映像演出を手掛けるなど、順調に成果をあげております。

これらの結果、コンサート・イベント事業の売上高は6,435百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

[その他の事業]

その他の事業の売上高は、ありませんでした。(前年同四半期は売上高は、ありませんでした。)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は12,399百万円となり、前連結会計年度末と比べて970百万円減少しました。これは現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。

負債合計は8,364百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,101百万円減少しました。これは短期借入金が減少したことが主な要因であります。

純資産合計は4,034百万円となり、前連結会計年度末と比べて131百万円増加しました。これは四半期純利益の利益剰余金への計上が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しており、平成24年11月5日に公表しました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,844,348	1,385,989
受取手形及び売掛金	2,838,431	2,577,472
商品及び製品	1,673,512	1,599,473
仕掛品	329,936	171,037
原材料及び貯蔵品	428,199	379,915
その他	599,262	675,113
貸倒引当金	△30,854	△30,151
流動資産合計	7,682,836	6,758,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,239,491	1,261,831
減価償却累計額	△736,342	△770,774
建物及び構築物(純額)	503,149	491,056
機械装置及び運搬具	6,253,695	6,058,874
減価償却累計額	△4,811,758	△4,757,078
機械装置及び運搬具(純額)	1,441,937	1,301,795
工具、器具及び備品	796,158	798,491
減価償却累計額	△586,346	△616,077
工具、器具及び備品(純額)	209,811	182,414
リース資産	2,013,815	2,142,367
減価償却累計額	△1,016,820	△846,723
リース資産(純額)	996,994	1,295,644
その他	685,187	720,773
有形固定資産合計	3,837,079	3,991,684
無形固定資産		
のれん	40,267	8,191
その他	74,764	59,907
無形固定資産合計	115,031	68,099
投資その他の資産		
その他	1,940,841	1,788,447
貸倒引当金	△205,769	△207,223
投資その他の資産合計	1,735,072	1,581,223
固定資産合計	5,687,183	5,641,007
資産合計	13,370,020	12,399,859

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797,181	762,274
短期借入金	1,694,296	880,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,271,324	1,146,866
リース債務	336,003	381,294
未払法人税等	85,913	206,961
賞与引当金	288,305	172,351
その他	1,102,513	833,870
流動負債合計	5,585,536	4,383,619
固定負債		
長期借入金	2,224,568	2,080,202
リース債務	789,466	1,014,082
退職給付引当金	792,541	812,284
資産除去債務	13,536	13,648
その他	61,031	61,031
固定負債合計	3,881,144	3,981,249
負債合計	9,466,680	8,364,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,721,487	1,721,487
資本剰余金	2,074,601	2,074,601
利益剰余金	608,196	454,807
自己株式	△366,848	△76,889
株主資本合計	4,037,437	4,174,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,152	6,299
繰延ヘッジ損益	△1,866	3,530
為替換算調整勘定	△138,384	△148,847
その他の包括利益累計額合計	△134,097	△139,016
純資産合計	3,903,339	4,034,989
負債純資産合計	13,370,020	12,399,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,345,735	10,989,693
売上原価	6,418,160	7,137,238
売上総利益	3,927,574	3,852,454
販売費及び一般管理費	3,172,202	3,083,953
営業利益	755,372	768,500
営業外収益		
受取利息	843	741
受取配当金	2,500	2,321
仕入割引	5,602	7,578
為替差益	8,558	—
その他	27,846	13,533
営業外収益合計	45,351	24,174
営業外費用		
支払利息	94,677	87,782
持分法による投資損失	31,780	40,085
為替差損	—	24,304
その他	8,416	10,641
営業外費用合計	134,874	162,813
経常利益	665,848	629,861
特別利益		
固定資産売却益	1,581	—
特別利益合計	1,581	—
特別損失		
固定資産売却損	771	30,063
固定資産除却損	21,881	—
ゴルフ会員権評価損	11,174	—
代理店契約解約損	—	19,194
その他	3,186	—
特別損失合計	37,013	49,258
税金等調整前四半期純利益	630,417	580,603
法人税等	396,342	284,767
少数株主損益調整前四半期純利益	234,074	295,835
少数株主損失(△)	△3,680	—
四半期純利益	237,755	295,835

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	234,074	295,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,416	670
繰延ヘッジ損益	△788	5,396
為替換算調整勘定	△8,673	△10,463
持分法適用会社に対する持分相当額	△297	△523
その他の包括利益合計	△11,175	△4,919
四半期包括利益	222,899	290,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,980	290,916
少数株主に係る四半期包括利益	△6,081	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年9月24日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成24年10月9日付で自己株式500,000株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ301,295千円減少しております。

(5) 重要な後発事象

(当社連結子会社による株式取得)

当社は、平成24年12月25日開催の取締役会において、当社連結子会社であるヒビノメディアテクニカル株式会社が、株式会社ベスコの全株式を取得し子会社化(当社の孫会社化)することを決議いたしました。

ヒビノメディアテクニカル株式会社は、平成24年12月25日付で株式会社ベスコの株式譲渡契約を締結し、平成25年1月10日付で同社の株式を取得し子会社としました。取得の概要につきましては、以下のとおりであります。

(1) 株式取得の目的

新たな販売網を形成し、取扱い機器拡充による顧客満足度の向上を図り、一層の収益拡大を目指すためであります。

(2) 株式取得の相手会社の名称

株式会社エナック

(3) 買収する会社の名称、事業内容、規模

名称 株式会社ベスコ

事業内容 映像音声機器のレンタル及び販売、各種映像音声機器の操作・保守業務の受託等

規模 (平成24年3月期)

純資産 197百万円

総資産 361百万円

(4) 株式取得の時期

平成25年1月10日

(5) 取得する株式の数及び取得後の持分比率

取得株式数 100株

取得後の持分比率 100%